



地域と学校をつなぐ!!

# 春校だより 7月号

令和4年7月5日

静岡県立天竜高等学校春野校舎

## ◇ 校長あいさつ ◇

### 「春野らしい教育」

飯田 寛志



春野の自然には季節ごとに特徴があり、春野校舎を訪れる度にそのことを強く感じます。私が春野校舎に向かうルートは2つあります。一つは二俣校舎から二俣川沿いに国道を上るルート、もう一つは新東名高速道路森掛川 IC から三倉川沿いに県道を上り気田川に突き当たるルートです。そのどちらも、四季折々の自然を感じることができる贅沢なルートです。

春は、道沿いの満開の桜並木や、山々に点在する開花した山桜が迎えてくれます。夏にかけては、静かで勇壮な気田川清流の流れと新緑の山並み、様々な野鳥のさえずりが清々しさを感じさせてくれます。秋は、峰々の緑と晴れ晴れとした空の青さのコントラストが素晴らしく、車を止めて見入ることさえあります。冬は、透きとおった寒さと春の芽吹きを待つ木々の静けさ、力強さを山々から感じます。

この恵まれた自然環境の中、春野校舎では「春野らしい教育」を展開しています。それは、春野高校の時から変わらない校訓である「立志力行」「師弟同行」すなわち、目標に向かって精一杯努力するとともに、生徒と教職員が共に学びあい、共に感動し、互いに信頼できる関係づくりを進めながら生徒の自己実現を目指して取り組む教育です。春野の豊かな自然が、素朴で礼儀正しく、だれに対しても温かく接する春野校舎の生徒を育てています。そして、生徒一人ひとりが夢や希望に向かって努力し、自分らしく生きることを実現するために、教職員が生徒に寄り添い、一緒になって取り組み成果を上げる、春野校舎での教育の「春野らしさ」がここにあります。

日ごろから春野校舎の教育活動に御協力いただいているPTA会員の皆様、様々な御支援をいただいている学校後援会、同窓会の皆様、温かく見守り学校を応援してくださる地域の皆様には、心から感謝しています。春野の自然に恩恵を受けながら、人の役に立ち、地域の文化・産業を支える人材を育成するために、教職員一同、教育活動に精一杯取り組んでまいりますので、今後も変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

## ◇ 多くの方が集まりました！春野人めぐり ◇ 5月28日（土）

春野町の町おこしイベント「春野人めぐり」に本校も参加しました。内容は部活動体験。全ての部活動がお客さんと一緒に体験活動を実施しました。多くの方が来校してくださり、にぎやかな一日となりました。

いつも少ない人数で卓球をやっていたので今日はとてもにぎやかな部活になりました。引退した先輩や地域の方が来てくれていい刺激になりました。親にも自分の成長を見せられたと思います。(21HR 鈴木颯太)

ボランティア部ではアイロンビーズ制作を行いました。地域の方がたくさん来てくれてうれしかったです。春野校舎のアットホームさが伝わったと思います。(31HR 大石泰成)



◇ クラス仲を深めよう！春の遠足 ◇ 4月14日（木）

1年生：はままつフルーツパーク 2年生：名古屋市内散策・学校見学 3年生：まかいの牧場  
1年生は出会ったばかりの友達と、2・3年生はなじみの級友たちと親睦を深めました。



僕は元々人見知りで、班の人と話しができるか心配でしたが、みんなでイチゴ狩りをしてすぐに打ち解けられました。この遠足で、クラスの中も良い空気になりました。(11HR 伊藤拓野)

中部大学に行きました。学校の説明に加えて、高校生のうちにやるべきことを聞くことができ参考になりました。勉強のモチベーションが上がりました笑(21HR 鈴木祐輝)



一番印象に残っている動物はマーウです。うちの猫と似ていました。牛の乳搾りは初めてで、牛が暴れるのではと不安でしたが、おとなしくてとても可愛かったです。(31HR 鈴木眞桜)



◇ 3年ぶりにお客さんを招きました！春祭 ◇ 6月4日（土）

「Free again～再び自由を～」をテーマに春祭を開催しました。テーマにはコロナ流行前の自由な学校活動を取り戻したい！という生徒の想いが込められています。3年ぶりに外部のお客さんを招待し、100人以上の人たちに来ていただき大盛況でした。

学校を休んでしまうと、良い体験はできなくなってしまいます。先に苦手意識を持つのではなく、まずはチャレンジしてみようと思えます。(11HR 渡辺歩夢)

僕は物販係でした。ジュースが届かないアクセントがありました。黒字になってよかったです。吹奏楽の発表では白熊のコスプレが恥ずかしかったです。ウケてうれしかったです。(21HR 渡邊悠成)

3年生になり、色々な行事が最後になっていきます。文化祭は生徒会長としても最後の大事な仕事でした。全員の意思統一をするのに苦労しましたが、人をまとめる力が身につきました。(31HR 山下航太)

